



2017年3月期 第2四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

2016年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 小松製作所

コード番号 6301 URL <http://www.komatsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大橋 徹二

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 本多 孝一

TEL 03-5561-2616

四半期報告書提出予定日 2016年11月10日

配当支払開始予定日

2016年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家、報道機関向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2017年3月期第2四半期の連結業績(2016年4月1日～2016年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2017年3月期第2四半期	796,112	△10.8	64,126	△35.2	58,095	△40.6	37,518	△42.4
2016年3月期第2四半期	892,497	△5.3	99,021	△21.2	97,879	△20.8	65,096	△16.5

(注) 四半期包括利益 2017年3月期第2四半期 △68,884百万円(—%) 2016年3月期第2四半期 41,569百万円(△64.7%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
2017年3月期第2四半期	39.80	39.75
2016年3月期第2四半期	69.07	68.98

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2017年3月期第2四半期	2,392,010	1,488,666	1,427,320	59.7	1,513.90
2016年3月期	2,614,654	1,587,760	1,517,414	58.0	1,609.69

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2016年3月期	—	29.00	—	29.00	58.00
2017年3月期	—	29.00	—	—	—
2017年3月期(予想)	—	—	—	29.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2017年3月期の連結業績予想(2016年4月1日～2017年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,685,000	△9.2	150,000	△28.1	145,000	△29.2	92,000	△33.1	97.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 0社 (社名) 、 除外 0社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

(注)詳細は添付資料5ページ「2. その他の情報 (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更 / 会計方針の変更・会計上の見積りの変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2017年3月期2Q	971,967,660 株	2016年3月期	971,967,660 株
------------	---------------	----------	---------------

② 期末自己株式数

2017年3月期2Q	29,157,487 株	2016年3月期	29,292,304 株
------------	--------------	----------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2017年3月期2Q	942,726,748 株	2016年3月期2Q	942,451,185 株
------------	---------------	------------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

前述の将来の業績予想に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをあらかじめご理解ください。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。

（参考）2017年3月期第2四半期（3カ月）の連結業績（2016年7月1日～2016年9月30日）

（百万円未満四捨五入）

連結経営成績（3カ月）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2017年3月期第2四半期	406,860	△ 8.9	34,337	△ 30.4	33,893	△ 27.8	21,930	△ 32.7
2016年3月期第2四半期	446,394	△ 7.5	49,308	△ 20.7	46,942	△ 24.6	32,566	△ 19.2

	1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2017年3月期第2四半期	23.26	23.23
2016年3月期第2四半期	34.55	34.51

○添付資料

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	P. 5
（3）連結業績予想に関する定性的情報	P. 5
2. その他の情報	P. 5
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社（特定子会社）の異動	P. 5
（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 5
（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 7
（1）四半期連結貸借対照表	P. 7
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 9
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
（4）継続企業の前提に関する注記	P. 12
（5）セグメント情報	P. 12
（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

コマツは、2019年3月期をゴールとする3カ年の中期経営計画「Together We Innovate GEMBA Worldwide -Growth Toward Our 100th Anniversary (2021) and Beyond-」を掲げ、①イノベーションによる成長戦略、②既存事業の成長戦略、③土台強化のための構造改革、を重点項目として活動しています。

2017年3月期第2四半期（2016年4月1日から2016年9月30日まで）の連結売上高は7,961億円（前年同期比10.8%減）となりました。建設機械・車両部門では、「戦略市場」の中近東、アフリカおよびインドネシアなどにおいて建設・鉱山機械需要は低迷したものの、CIS や中国などに加え「伝統市場」の北米、欧州において一般建設機械の需要を着実に取り込み、現地通貨ベースでは増収となりましたが、円高の影響により売上げは前年同期を下回りました。リテールファイナンス部門では、円高の影響ならびに中国およびオセアニアなどの資産の減少により、売上げは前年同期を下回りました。産業機械他部門では、主に自動車業界向けの鍛圧機械および工作機械の販売が減少したことから、売上げは前年同期を下回りました。

利益につきましては、引き続き固定費の削減や販売価格の改善などに取り組んだものの、円高および地域構成差に加え、第1四半期に実施した再生部品の在庫の評価減の影響などにより、営業利益は641億円（前年同期比35.2%減）となりました。売上高営業利益率は前年同期を3.0ポイント下回る8.1%、税引前四半期純利益は580億円（前年同期比40.6%減）、当社株主に帰属する四半期純利益は375億円（前年同期比42.4%減）となりました。

（金額単位：百万円）

	前第2四半期 連結累計期間 [A] 1ドル = 121.9円 1ユーロ = 134.6円 1元 = 19.5円	当第2四半期 連結累計期間 [B] 1ドル = 106.3円 1ユーロ = 119.5円 1元 = 16.1円	増減率 % [(B-A) / A]
売上高	892,497	796,112	△ 10.8
建設機械・車両	772,897	698,643	△ 9.6
リテールファイナンス	27,313	23,470	△ 14.1
産業機械他	100,784	79,027	△ 21.6
消去	△ 8,497	△ 5,028	-
セグメント利益	98,403	64,236	△ 34.7
建設機械・車両	83,229	57,618	△ 30.8
リテールファイナンス	7,539	4,216	△ 44.1
産業機械他	7,533	4,058	△ 46.1
消去又は全社	102	△ 1,656	-
営業利益	99,021	64,126	△ 35.2
税引前四半期純利益	97,879	58,095	△ 40.6
当社株主に帰属する四半期純利益	65,096	37,518	△ 42.4

（注）1. 前連結会計年度まで事業セグメントを1）建設機械・車両、2）産業機械他の二つに区分していましたが、意思決定単位の見直しに伴い、当第1四半期連結累計期間よりセグメント区分を1）建設機械・車両、2）リテールファイナンス、3）産業機械他の三つに変更しています。これに伴い、前第2四半期連結累計期間の数値を当第2四半期連結累計期間の表示に組替えて表示しています。

2. 本文に記載しています売上高および利益は、すべて2016年4月から9月までの6カ月間の累計です。また、セグメント別売上高は、注記のないものはすべてセグメント間取引消去前ベースです。

部門別の概況は以下のとおりです。

【建設機械・車両】

建設機械・車両部門の売上高は6,986億円（前年同期比9.6%減）、セグメント利益は576億円（前年同期比30.8%減）となりました。

2015年2月から日本で展開している建設現場向けソリューション事業「スマートコンストラクション」では、これまでコマツで実施していた3次元測量サービスを、本年9月より全国の測量会社への委託も開始しました。建設現場の課題解決のためにコマツと連携・協力し合う「スマートコンストラクションパートナー」は、測量会社にとどまらず、建設生産プロセスにおける「調査」「測量」「設計・施工計画」「施工」「検査」に関わる様々な分野のパートナーに対象を拡大していきます。

本年9月に米国ラスベガスで開催された鉱山機械見本市「MINExpo INTERNATIONAL® 2016」において、運転室（キャブ）をなくし、前後方向を選ばない走破性の高いシャトル走行を可能にした、これまでにない全く新しいコンセプトの無人専用運搬車両「Innovative Autonomous Haulage Vehicle」を実機展示しました。

また、インドネシア、タイ、フィリピンなど東南アジアを中心としたアジア諸国を対象に、現地特有の気候条件、使用環境および作業方法などに適応する仕様車・オプション品・アタッチメントを、迅速に開発し市場導入を進めるため、コマツインドネシア（株）敷地内にアジア開発センタを本年10月に設立しました。

建設機械・車両部門の地域別売上高（外部顧客向け売上高）

（金額単位：百万円）

	前第2四半期 連結累計期間 [A]	当第2四半期 連結累計期間 [B]	増 減	
			金 額 [B-A]	増減率 % [(B-A)/A]
日本	147,577	137,379	△ 10,198	△ 6.9
北米	158,839	155,516	△ 3,323	△ 2.1
中南米	106,789	95,041	△ 11,748	△ 11.0
米州	265,628	250,557	△ 15,071	△ 5.7
欧州	70,323	65,338	△ 4,985	△ 7.1
CIS	23,338	30,314	6,976	29.9
欧州・CIS	93,661	95,652	1,991	2.1
中国	31,738	36,122	4,384	13.8
アジア（※）	99,164	80,581	△ 18,583	△ 18.7
オセアニア	53,803	48,219	△ 5,584	△ 10.4
アジア（※）・オセアニア	152,967	128,800	△ 24,167	△ 15.8
中近東	31,322	16,375	△ 14,947	△ 47.7
アフリカ	44,108	30,403	△ 13,705	△ 31.1
中近東・アフリカ	75,430	46,778	△ 28,652	△ 38.0
合計	767,001	695,288	△ 71,713	△ 9.3

(注) 1. 前連結会計年度まで事業セグメントを1) 建設機械・車両、2) 産業機械他の二つに区分していましたが、意思決定単位の見直しに伴い、当第1四半期連結累計期間よりセグメント区分を1) 建設機械・車両、2) リテールファイナンス、3) 産業機械他の三つに変更しています。これに伴い、前第2四半期連結累計期間の数値を当第2四半期連結累計期間の表示に組替えて表示しています。

2. (※)「アジア」は日本および中国を除きます。

地域別の概況は以下のとおりです。

<日本>

レンタル業界向けを中心に新排出ガス規制関連の需要が一巡した影響を受け、売上げは前年同期を下回りました。

<米州>

北米では、カナダのエネルギー分野向けなどの需要は低迷したものの、米国の一般ユーザの需要は引き続き堅調に推移したことから、現地通貨ベースでは増収となりました。しかしながら、為替が円高に推移したことから売上げは前年同期を下回りました。

中南米では、ブラジルなどで建設・鉱山機械の需要が低調に推移したものの、ペルーの一部大手鉱山向けに超大型ダンプトラックの販売などがあり、現地通貨ベースでは増収となりました。しかしながら、為替が円高に推移したことから売上げは前年同期を下回りました。

<欧州・CIS>

欧州では、主要市場であるドイツを中心に需要が堅調であることに加え、昨年度に買収したドイツのアタッチメントメーカー、レンホフ社の新規連結の効果があり、現地通貨ベースでは増収となりましたが、為替が円高に推移したことから売上げは前年同期を下回りました。

CISでは、金鉱山を中心に鉱山向け需要が増加し、売上げは前年同期を上回りました。

<中国>

全国的にインフラ工事が進行し、一般建機の需要が伸長したことから、売上げは前年同期を上回りました。

<アジア・オセアニア>

アジアでは、インフラ投資が好調なタイで需要を取り込むことができたものの、最大市場であるインドネシアで石炭の減産に伴い鉱山機械の本体および部品の販売が減少したことから、売上げは前年同期を下回りました。

オセアニアでは、鉱山機械の部品、サービスの需要を着実に取り込み、現地通貨ベースでは増収となりましたが、為替が円高に推移したことから売上げは前年同期を下回りました。

<中近東・アフリカ>

中近東では、原油安などの影響により湾岸諸国の需要が大幅に減少したことから、売上げは前年同期を下回りました。

アフリカでは、主要市場である南アフリカの鉱山向け需要が減少したことから、売上げは前年同期を下回りました。

【リテールファイナンス】

リテールファイナンス部門では、円高の影響ならびに中国およびオセアニアなどの資産の減少により、売上高は234億円（前年同期比14.1%減）となりました。セグメント利益は42億円（前年同期比44.1%減）となりました。

【産業機械他】

産業機械他部門では、自動車業界向けの鍛圧機械および工作機械の販売が減少したことに加え、旧コマツハウス（株）（現（株）システムハウスアールアンドシー）の連結除外による影響などにより、売上高は790億円（前年同期比21.6%減）となりました。セグメント利益は40億円（前年同期比46.1%減）となりました。

コマツ産機（株）では、高い生産性とランニングコストの大幅な低減を実現した小型ACサーボプレス機「HIF-2」シリーズおよびACサーボプレスブレーキ「PVS」シリーズについて本年8月にラインナップを追加し、更なる販売拡大に努めました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

<財政状態>

当第2四半期連結会計期間末は、米ドル、ユーロ、人民元などに対して為替が前期末に比べ円高となったことに加え、受取手形及び売掛金の回収が進んだことにより、総資産は前期末に比べ2,226億円減の2兆3,920億円となりました。有利子負債残高は前期末に比べ703億円減の3,872億円となりました。また、株主資本は外貨換算調整勘定の減少などにより、前期末に比べ900億円減の1兆4,273億円となりました。これらの結果、株主資本比率は前期末に比べ1.7ポイント増の59.7%となりました。

<キャッシュ・フロー>

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期純利益387億円に加え、受取手形及び売掛金の回収などにより、960億円の収入（前年同期比559億円の収入減）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の購入などにより、509億円の支出（前年同期比156億円の支出減）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済や配当金の支払いなどにより、686億円の支出（前年同期は1,237億円の支出）となりました。これらに為替変動の影響を加えた結果、現金及び現金同等物の当四半期末残高は前期末に比べ191億円減少し、871億円となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

本年4月27日に公表しました2017年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社（特定子会社）の異動

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更

①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更

当連結会計年度より、会計基準アップデート2015-16「企業結合－測定期間中の修正に関する会計処理の簡素化」を適用しています。同アップデートは、企業結合が完了した後の会計期間（測定期間）中の修正について、財務諸表を遡及修正する規定を削除し、その修正金額が確定した報告期間に認識

することを要求しています。同アップデートの適用による当社の財政状態および経営成績への影響はありません。

②①以外の会計方針の変更
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

区分	前連結会計年度末 (2016年3月31日)		当第2四半期連結会計期間末 (2016年9月30日)	
	金額（百万円）	構成比 （%）	金額（百万円）	構成比 （%）
（資産の部）				
流動資産				
現金及び現金同等物	106,259		87,148	
定期預金	2,212		1,903	
受取手形及び売掛金	583,390		502,888	
たな卸資産	539,611		523,742	
売却予定資産	13,388		—	
繰延税金及びその他の流動資産	141,593		130,216	
流動資産合計	1,386,453	53.0	1,245,897	52.1
長期売上債権	291,923	11.2	270,006	11.3
投資				
関連会社に対する投資及び貸付金	28,123		27,674	
投資有価証券	51,590		53,475	
その他	2,640		2,273	
投資合計	82,353	3.2	83,422	3.5
有形固定資産	697,742	26.7	645,506	27.0
営業権	40,005	1.5	37,868	1.6
その他の無形固定資産	63,056	2.4	58,287	2.4
繰延税金及びその他の資産	53,122	2.0	51,024	2.1
資産合計	2,614,654	100.0	2,392,010	100.0

区分	前連結会計年度末 (2016年3月31日)		当第2四半期連結会計期間末 (2016年9月30日)	
	金額（百万円）	構成比 （%）	金額（百万円）	構成比 （%）
（負債の部）				
流動負債				
短期債務	144,552		124,137	
長期債務	100,364		85,204	
－1年以内期限到来分				
支払手形及び買掛金	205,411		189,403	
未払法人税等	29,310		21,333	
売却予定負債	7,057		—	
繰延税金及びその他の流動負債	214,200		196,583	
流動負債合計	700,894	26.8	616,660	25.8
固定負債				
長期債務	212,636		177,864	
退職給付債務	67,972		65,744	
繰延税金及びその他の負債	45,392		43,076	
固定負債合計	326,000	12.5	286,684	12.0
負債合計	1,026,894	39.3	903,344	37.8
（純資産の部）				
資本金	67,870		67,870	
資本剰余金	138,243		137,950	
利益剰余金				
利益準備金	44,018		45,363	
その他の剰余金	1,300,030		1,308,849	
その他の包括利益（△損失）累計額	18,667		△ 81,533	
自己株式	△ 51,414		△ 51,179	
株主資本合計	1,517,414	58.0	1,427,320	59.7
非支配持分	70,346	2.7	61,346	2.5
純資産合計	1,587,760	60.7	1,488,666	62.2
負債及び純資産合計	2,614,654	100.0	2,392,010	100.0

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（第2四半期連結累計期間）

四半期連結損益計算書

区分	前第2四半期連結累計期間 自 2015年 4月 1日 至 2015年 9月30日		当第2四半期連結累計期間 自 2016年 4月 1日 至 2016年 9月30日	
	金額（百万円）	百分比 （%）	金額（百万円）	百分比 （%）
売上高	892,497	100.0	796,112	100.0
売上原価	625,421	70.1	569,548	71.5
販売費及び一般管理費	168,673	18.9	162,328	20.4
その他の営業収益（△費用）	618	0.1	△ 110	△ 0.0
営業利益	99,021	11.1	64,126	8.1
その他の収益（△費用）				
受取利息及び配当金	1,886	0.2	1,603	0.2
支払利息	△ 4,873	△ 0.5	△ 3,849	△ 0.5
その他（純額）	1,845	0.2	△ 3,785	△ 0.5
合計	△ 1,142	△ 0.1	△ 6,031	△ 0.8
税引前四半期純利益	97,879	11.0	58,095	7.3
法人税等	31,294	3.5	21,159	2.7
持分法投資損益調整前四半期純利益	66,585	7.5	36,936	4.6
持分法投資損益	1,197	0.1	1,812	0.2
四半期純利益	67,782	7.6	38,748	4.9
控除：非支配持分に帰属する四半期純利益	2,686	0.3	1,230	0.2
当社株主に帰属する四半期純利益	65,096	7.3	37,518	4.7
1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益				
基本的	69.07 円		39.80 円	
希薄化後	68.98 円		39.75 円	

四半期連結包括利益計算書

区分	前第2四半期連結累計期間 自 2015年 4月 1日 至 2015年 9月30日		当第2四半期連結累計期間 自 2016年 4月 1日 至 2016年 9月30日	
	金額（百万円）		金額（百万円）	
四半期純利益	67,782		38,748	
その他の包括利益（△損失）－税控除後				
外貨換算調整勘定	△ 18,513		△ 110,222	
未実現有価証券評価損益	△ 8,977		1,115	
年金債務調整勘定	942		1,180	
未実現デリバティブ評価損益	335		295	
合計	△ 26,213		△ 107,632	
四半期包括利益（△損失）	41,569		△ 68,884	
控除：非支配持分に帰属する四半期包括利益（△損失）	△ 70		△ 6,202	
当社株主に帰属する四半期包括利益（△損失）	41,639		△ 62,682	

（第2四半期連結会計期間）

四半期連結損益計算書

区分	前第2四半期連結会計期間 自 2015年 7月 1日 至 2015年 9月30日		当第2四半期連結会計期間 自 2016年 7月 1日 至 2016年 9月30日	
	金額（百万円）	百分比（%）	金額（百万円）	百分比（%）
売上高	446,394	100.0	406,860	100.0
売上原価	312,944	70.1	290,031	71.3
販売費及び一般管理費	84,648	19.0	81,593	20.1
その他の営業収益（△費用）	506	0.1	△ 899	△ 0.2
営業利益	49,308	11.0	34,337	8.4
その他の収益（△費用）				
受取利息及び配当金	840	0.2	578	0.1
支払利息	△ 2,376	△ 0.5	△ 1,891	△ 0.5
その他（純額）	△ 830	△ 0.2	869	0.2
合計	△ 2,366	△ 0.5	△ 444	△ 0.1
税引前四半期純利益	46,942	10.5	33,893	8.3
法人税等	13,711	3.1	11,944	2.9
持分法投資損益調整前四半期純利益	33,231	7.4	21,949	5.4
持分法投資損益	800	0.2	708	0.2
四半期純利益	34,031	7.6	22,657	5.6
控除：非支配持分に帰属する四半期純利益	1,465	0.3	727	0.2
当社株主に帰属する四半期純利益	32,566	7.3	21,930	5.4
1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益				
基本的	34.55 円		23.26 円	
希薄化後	34.51 円		23.23 円	

四半期連結包括利益計算書

区分	前第2四半期連結会計期間 自 2015年 7月 1日 至 2015年 9月30日		当第2四半期連結会計期間 自 2016年 7月 1日 至 2016年 9月30日	
	金額（百万円）		金額（百万円）	
四半期純利益	34,031		22,657	
その他の包括利益（△損失）－税控除後				
外貨換算調整勘定	△ 45,596		△ 13,910	
未実現有価証券評価損益	△ 7,898		4,641	
年金債務調整勘定	701		457	
未実現デリバティブ評価損益	306		△ 908	
合計	△ 52,487		△ 9,720	
四半期包括利益（△損失）	△ 18,456		12,937	
控除：非支配持分に帰属する四半期包括利益（△損失）	△ 2,589		150	
当社株主に帰属する四半期包括利益（△損失）	△ 15,867		12,787	

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

区分	前第2四半期 連結累計期間 自 2015年 4月 1日 至 2015年 9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自 2016年 4月 1日 至 2016年 9月30日
	金額（百万円）	金額（百万円）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期純利益	67,782	38,748
四半期純利益から営業活動による現金及び現金同等物の増減（純額）への調整		
減価償却費等	54,718	51,810
法人税等繰延分	△ 729	△ 1,635
投資有価証券売却損益及び減損	△ 3,723	△ 177
有形固定資産売却損益	△ 772	△ 483
固定資産廃却損	982	1,020
未払退職金及び退職給付債務の増減	1,315	2,367
資産及び負債の増減		
受取手形及び売掛金の増減	56,409	31,537
たな卸資産の増減	6,815	△ 35,017
支払手形及び買掛金の増減	△ 27,801	△ 7,523
未払法人税等の増減	△ 15,772	△ 7,851
その他（純額）	12,780	23,292
営業活動による現金及び現金同等物の増減（純額）	152,004	96,088
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の購入	△ 79,482	△ 67,638
固定資産の売却	9,203	10,625
売却可能投資有価証券等の売却	5,106	600
売却可能投資有価証券等の購入	△ 369	△ 106
子会社及び持分法適用会社株式等の売却（現金流出額との純額）	—	5,485
子会社及び持分法適用会社株式等の取得（現金取得額との純額）	△ 796	—
貸付金の回収	102	7
定期預金の増減（純額）	△ 338	89
投資活動による現金及び現金同等物の増減（純額）	△ 66,574	△ 50,938
財務活動によるキャッシュ・フロー		
満期日が3カ月超の借入債務による調達	91,412	46,618
満期日が3カ月超の借入債務の返済	△ 106,405	△ 75,044
満期日が3カ月以内の借入債務の増減（純額）	△ 75,203	△ 9,379
キャピタルリース債務の減少	△ 359	△ 29
自己株式の売却及び取得（純額）	61	18
配当金支払	△ 27,345	△ 27,354
その他（純額）	△ 5,928	△ 3,510
財務活動による現金及び現金同等物の増減（純額）	△ 123,767	△ 68,680
為替変動による現金及び現金同等物への影響額	511	4,419
現金及び現金同等物純増減額	△ 37,826	△ 19,111
現金及び現金同等物期首残高	105,905	106,259
現金及び現金同等物四半期末残高	68,079	87,148

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 2015年4月1日 至 2015年9月30日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	リテール ファイナンス	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	767,001	25,849	99,647	892,497	—	892,497
(2) セグメント間の内部売上高	5,896	1,464	1,137	8,497	△ 8,497	—
計	772,897	27,313	100,784	900,994	△ 8,497	892,497
セグメント利益	83,229	7,539	7,533	98,301	102	98,403

当第2四半期連結累計期間（自 2016年4月1日 至 2016年9月30日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	リテール ファイナンス	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	695,288	22,291	78,533	796,112	—	796,112
(2) セグメント間の内部売上高	3,355	1,179	494	5,028	△ 5,028	—
計	698,643	23,470	79,027	801,140	△ 5,028	796,112
セグメント利益	57,618	4,216	4,058	65,892	△ 1,656	64,236

前第2四半期連結会計期間（自 2015年7月1日 至 2015年9月30日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	リテール ファイナンス	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	378,050	12,797	55,547	446,394	—	446,394
(2) セグメント間の内部売上高	2,469	703	505	3,677	△ 3,677	—
計	380,519	13,500	56,052	450,071	△ 3,677	446,394
セグメント利益	40,794	3,774	4,264	48,832	△ 30	48,802

当第2四半期連結会計期間（自 2016年7月1日 至 2016年9月30日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	リテール ファイナンス	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	351,855	10,986	44,019	406,860	—	406,860
(2) セグメント間の内部売上高	1,622	621	233	2,476	△ 2,476	—
計	353,477	11,607	44,252	409,336	△ 2,476	406,860
セグメント利益	31,231	2,331	2,350	35,912	△ 676	35,236

(注) 1. 前連結会計年度まで事業セグメントを1) 建設機械・車両、2) 産業機械他の二つに区分していましたが、意思決定単位の見直しに伴い、当第1四半期連結累計期間よりセグメント区分を1) 建設機械・車両、2) リテールファイナンス、3) 産業機械他の三つに変更しています。これに伴い、前第2四半期連結累計期間及び前第2四半期連結会計期間の数値を当第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結会計期間の表示に組替えて表示しています。

2. 事業の種類別セグメントに含まれる主要製品・事業内容は、次のとおりです。

a. 建設機械・車両セグメント

掘削機械、積込機械、整地・路盤用機械、運搬機械、林業機械、地下建設機械、資源リサイクル機械、産業車両、その他機械、エンジン、機器、鋳造品、物流関連

b. リテールファイナンスセグメント

販売金融

c. 産業機械他セグメント

鍛圧機械、板金機械、工作機械、防衛関連、温度制御機器、その他

3. セグメント間の取引は、独立企業間価格で行われています。

【地域別情報】

前第2四半期連結累計期間（自 2015年4月1日 至 2015年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自 2016年4月1日 至 2016年9月30日）の地域別外部顧客に対する売上高は次のとおりです。

（金額単位：百万円）

	日本	米州	欧州・CIS	中国	アジア※・オセアニア	中近東・アフリカ	連結
前第2四半期連結累計期間	186,643	306,937	101,314	48,815	173,080	75,708	892,497
当第2四半期連結累計期間	173,050	276,584	101,466	51,405	146,786	46,821	796,112

前第2四半期連結会計期間（自 2015年7月1日 至 2015年9月30日）及び当第2四半期連結会計期間（自 2016年7月1日 至 2016年9月30日）の地域別外部顧客に対する売上高は次のとおりです。

（金額単位：百万円）

	日本	米州	欧州・CIS	中国	アジア※・オセアニア	中近東・アフリカ	連結
前第2四半期連結会計期間	100,919	152,102	48,218	24,438	86,285	34,432	446,394
当第2四半期連結会計期間	97,973	139,714	46,662	24,508	75,854	22,149	406,860

※ 日本及び中国を除きます。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。